



通信教育における質向上 への挑戦と課題

村上学園高等学校 校長
村上 太

自己紹介

- 昭和47年生まれ（52歳）
- 平成9年3月東京工業大学工学部機械工学科卒業
- 平成9年4月日本電信電話株式会社入社
- 平成17年4月高松高等予備校入社
- 平成29年村上学園高等学校 校長として赴任
通信制高等学校校長として8年目

本日の内容

- 村上学園高等学校の紹介
- 通信制の教育の質の考察
- 通信制のこれまでと今後
- 本校独自の取り組みの紹介



村上学園高等学校の紹介

歴史

- 平成24年に認可を受け開校。今年で13年目になる狭域制通信制高等学校
- 生徒数230名（令和6年5月時点）
- 校舎 丸亀校舎（本校）
高松校舎（面接等指導施設）

開設コース

- 通学コース（週5日、週4日登校）
- 大学進学コース（週5日登校）
高松校舎のみ開設
- 通信コース（週1日登校）
- 映像コース



学校目標
社会で通用する
有為な人材育成

村上学園高等学校 在籍生徒の実態

- ・ 小・中学校及び前籍校における**不登校**経験がある生徒
- ・ なかなか**中学校の授業**についていけなかった生徒
- ・ **コミュニケーション**や**大人数**が苦手な生徒
- ・ **やりたいこと**又は**社会経験**を積みながら高卒資格が欲しい生徒



同じ境遇の生徒と**学校生活を送る**

適度な距離感での人間関係 ・

支え合う仲間 ・ **落ち着いた空間**

村上学園の教育環境



- **指導が行き届くクラス編成**
(1クラス**15名前後**)
- **各クラス担任1人 + 副担任1~2人が担当**
- **たくさんの先生が見守る手厚い教育**
- **先生は、生徒に一人ひとり寄り添いながらも
熱意と粘り強い指導**
- **日々の出席状況をリアルタイムで管理できる**

学校に来るための工夫



学校生活記録

- ・ 毎日実施
- ・ 毎日の生活の記録を担当とやり取り。直接言いにくいことなどをやり取りしたりしている。



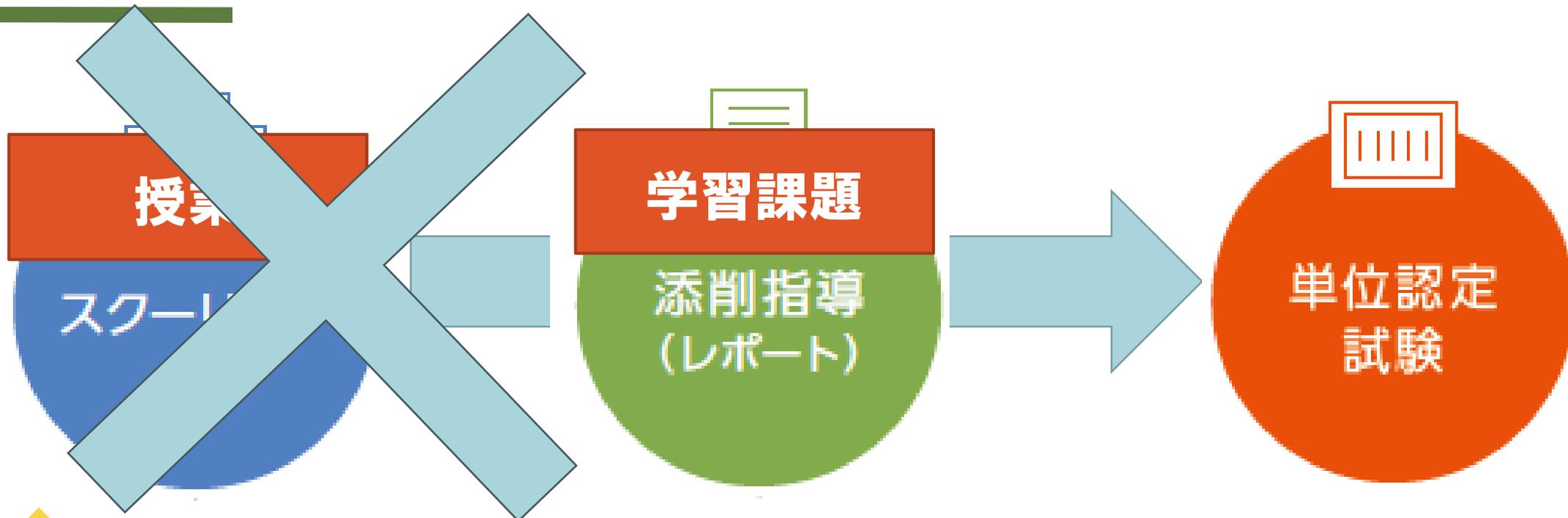
学校生活についてのアンケート

- ・ 毎月実施
- ・ 学校生活のことを聞いている。いじめにつながることや友達との関係で悩んでいたりを聞いている。

生活習慣アンケート

- ・ 長期休暇(夏期・冬期)後、年2回実施
- ・ 乱れがちな生活について把握し、早めの指導につなげる。

単位修得までの流れ

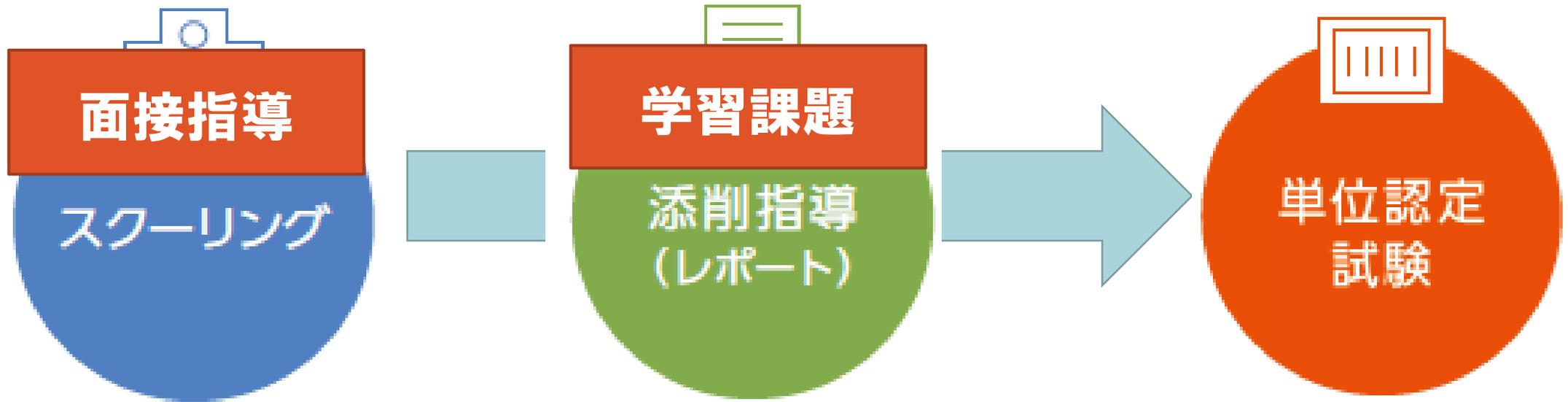


通学コースは年間 5 回

通信教育コースは年間 3 回

試験を実施

単位修得までの流れ



単位認定試験に関しては通学コースであろうと、通信制コースであろうと同じ内容とする

通信制の教育の質の考察 面接指導

面接指導

スクーリング

前提条件

- 面接指導は全日制の授業の代わりではない
- 自らの学びを深めていくため、個別に対応していく時間である
- 科目ごとに決まった時数の面接指導を実施しなければならない
- 面接指導は教員免許を持った教員が

これまでの村上学園では

- 大学進学コース、通学コースでは毎日スクーリングをしている形となっており、通信における面接指導というかたちでできていなかった
- 出席日数 = 面接指導回数としていたので実際の中身があやふやだった

今後の対策

- 面接指導の日を年間指導計画で決めていく
- 面接指導のあり方を研究していき、単なる学習指導にならないようにしていく
- 学習支援として学習内容の充実や添削指導のサポートとして利用する

通信制の教育の質の考察 添削指導

学習課題

添削指導
(レポート)

前提条件

- 添削指導が全日制での授業の代わりとなるもの
- 各々が課題を進めていき、高校資格を取るための力をつけていくもの
- 面接指導の中で添削指導をしてはいけない

これまでの村上学園では

- それぞれのコースでレベルが違い、コースごとに本人ができるレベルにこちらが合わせる形になっていた
- 全部できるまでやり直しさせていたので、添削指導というかたちになっていなかった

今後の対策

- コースごとのレポートをやめる
- レポートの電子化を継続し、授業の代わりという意識を持ち対応する
- 内容の充実をはかり、しっかりと自学自習できるようなものにしていく
- 面接指導日以外の日でレポートサポートをしていくようにする

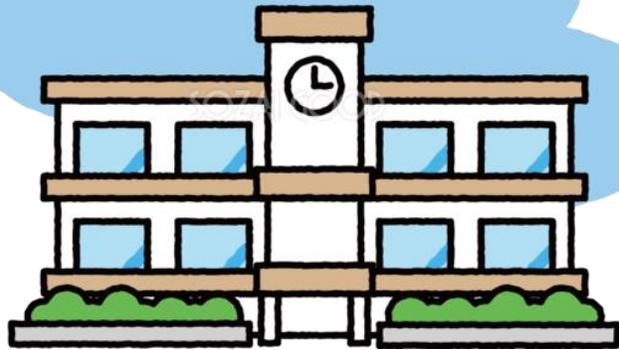
通信制の質の確保に関して

- どのように通信制課程で単位認定するかというのが大切
- 面接指導、添削指導、テストという中で単位を与えていくので、学校内でいろいろな方法があるのがおかしい
- 全日制スタイルにこだわるのが質の向上につながると考えていたが、単位認定に関わる部分以外の活動が直接通信制の質に関わることはない
- ただし、これまで社会で通用するようにと懸命にぶつかってきた教育を丸々否定するものではなく、どういった人間を作っていくかという観点で考えたときにはよかった部分もあると考えている

教職員の意識改革

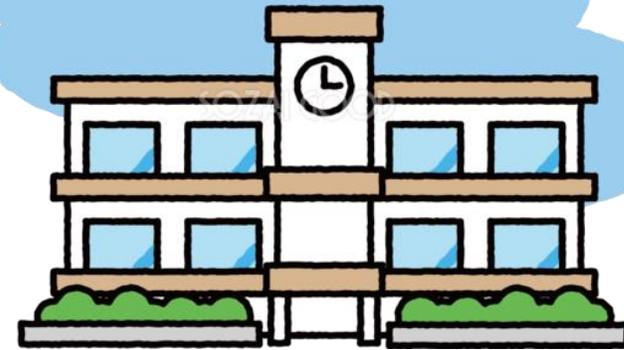
- 面接指導のあり方を教える側が認識し、受ける生徒本人も理解してもらう必要がある
- 添削指導でしっかりとした学習成果があげられるように、シラバスを構築し、それ以外の時間をどうするか考える必要がある
- 面接指導、添削指導、テストがコースごとに変わるのではなく、どのコースも同じ尺度で通信教育に関わる部分の評価は同じにしていく
- 面接指導ではない授業時間を社会で生き抜くために力をつける時間とするため、探究活動や地域連携をすすめ、いろいろな体験をさせ低時間を増やしていく

かつては



全日制・定時制高等学校

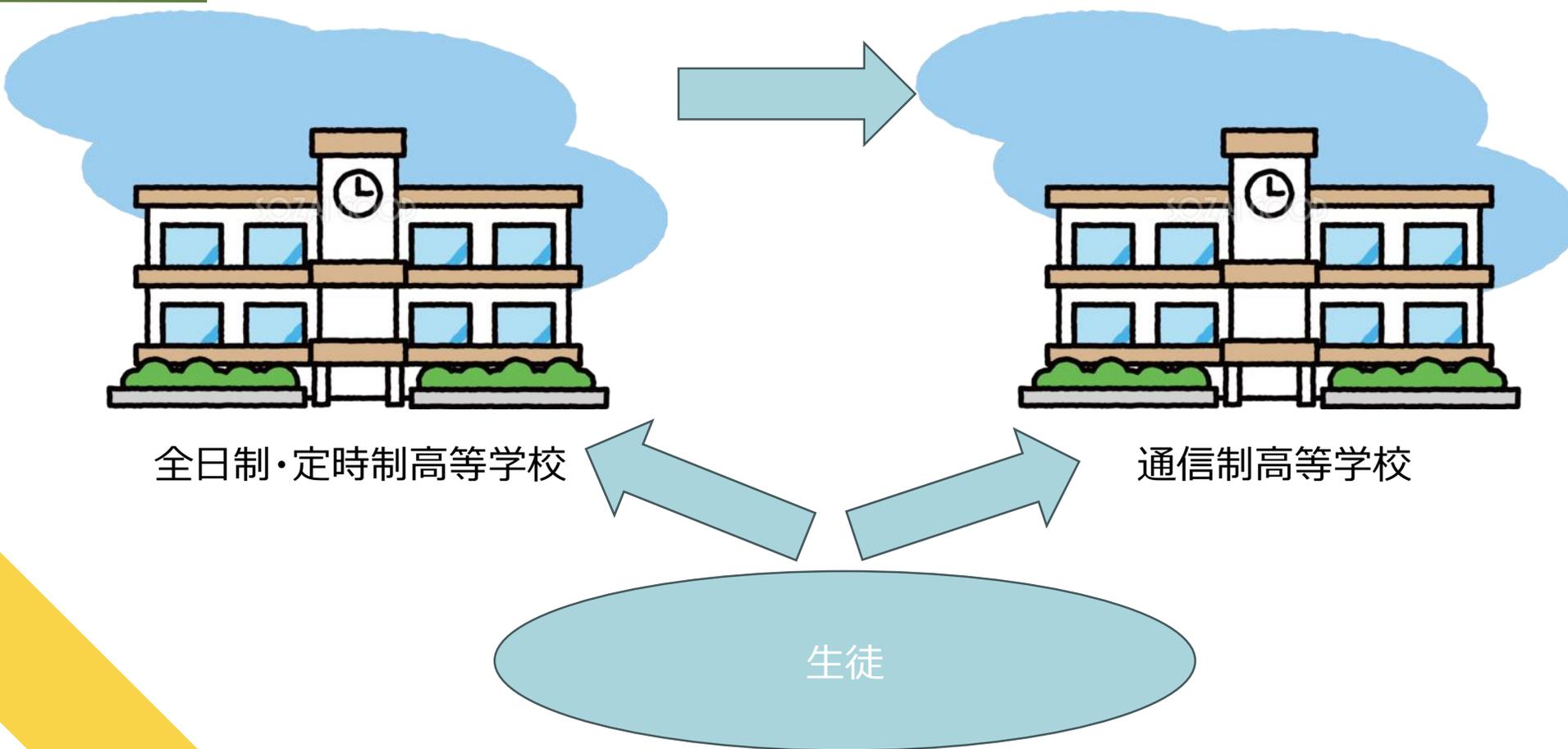
生徒



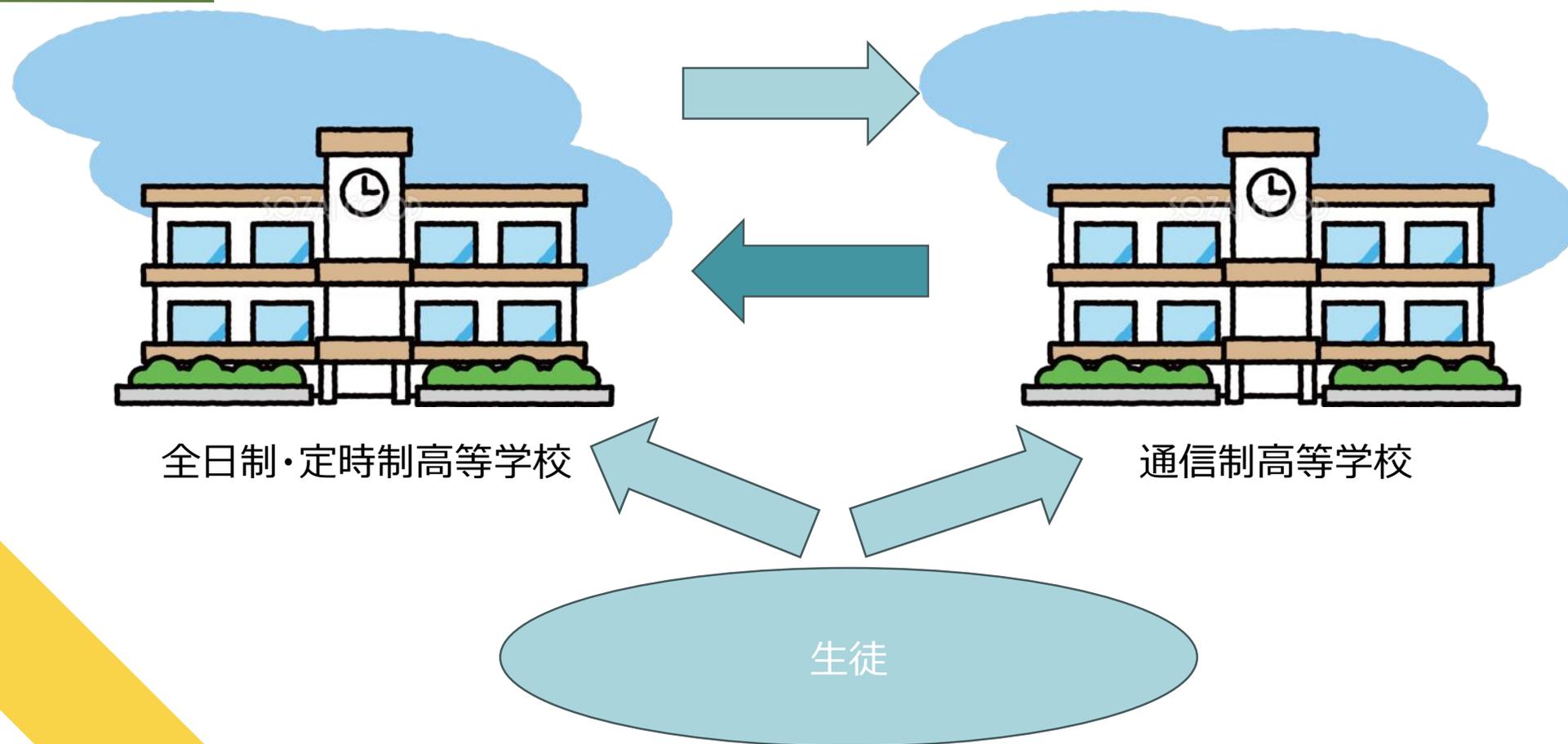
通信制高等学校

生徒

今は



今後のこと



独り言

- 全日制において不登校生徒に対して、通信の単位を36単位を上限として認めるとの話だったと思うのだが・・・。

私学助成金のこと

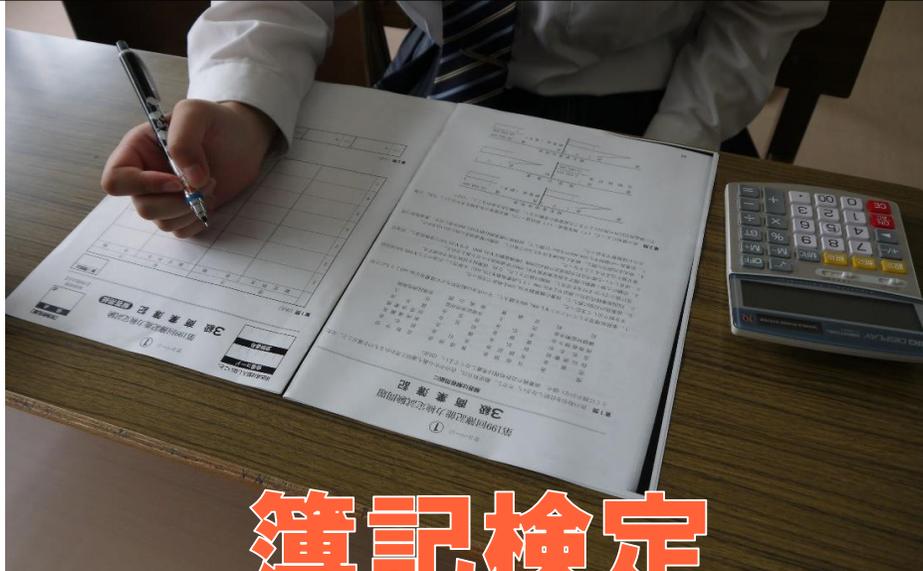
- 通信制教育の枠組みだけでなく、多様性を確保し、いろいろな体験を通して社会性を身につけさせるためには、どうしてもコストがかかる
- 全日制との垣根がなくなっていく今後において、通信制だけ助成金が少ないというのは、通っている生徒たちに不公平ではないか
- また全日制で一部通信を併用した場合の助成金がどうなるか

A vertical image on the left side of the page showing a close-up of wood grain with wavy, concentric patterns in shades of grey and black.

独自の取り組み

社会で通用するための経験をつませる

資格検定



簿記検定



PC検定



英語検定



漢字検定

総合的な探究活動への取り組み(丸亀校)



うどん探求

総合的な探究活動への取り組み(高松校)



水と言葉と人間の暮らし
～竹田市における水資源の活用～

太鼓部 (丸亀校)



心と体

4

を鍛える

健全な心は健康な体に宿る。

心と体をコントロールする力を
身につけます。

人生を生き生きと前向きに過ごすためには、何よりも心身の健康を保つことが大切です。本校では合気道などを通じ、心と体をコントロールする技を専門家から直接学ぶことができます。





SDGs活動

～今私達にできること～

村上学園高等学校高松は
持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています



大学進学コース

通学コース

社会力

を培う

5

豊かな人間形成を目指す
SDGs 実践教育により、
社会で役立つ力を身につけます。
本校ではSDGs(Sustainable Development Goals 持続可能な開発目標)の1つである「海の豊かさを守ろう」のテーマに賛同し、令和3年4月より毎週定期的に、高松市の砂浜の清掃活動を継続的に実践しています。



ご静聴ありがとうございました

学校法人 村上学園

村上学園高等学校

校長 村上 太